



充実した夏季休業を過ごしましょう！

7月17日（金）に表彰式、全国大会壮行式、退任式、夏季休業前閉講式を行いました。閉講式では緒方校長先生から「小さなことでもいいから挑戦しよう」「夢や目標に向かって追いつけよう」「努力は将来役に立つ」と生徒たちに語られました。また、壮行式では、全国定通体育大会陸上競技に出場する女子生徒1名とNHK杯全国放送コンテストに出場する女子生徒2名に佐商同窓会の永島幸夫会長様から激励金が贈られるとともに、在校生も含めて熱いエールを送っていただきました。



4月からの生活を振り返り、仕事と勉強を両立させた人、新しい環境で毎日を乗り切った人、よりよい行事にすべく頑張った人、定通大会で全力を尽くした人など、一人ひとりの輝きが多くみられた4か月間だったと思います。8月27日（木）の夏季休業明け開講式では、充実した時間を過ごしさらなる成長を遂げた皆さんに会えることを楽しみにしています。

○「ミライへのステップ」～性教育講演会を実施しました～

今年も内野産婦人科より助産師の先生をお招きし、1日（水）に「ミライへのステップ」という演題で講話いただきました。妊娠中の赤ちゃんの動画視聴を通して生命誕生の軌跡や尊さ・神秘性を学ぶとともに、佐賀県における10代の人工妊娠中絶率が2006年に全国ワースト1で現在も高い割合が続いていることや、「のぞまない妊娠」を避けるには？、性感染症やLGBTなど、多岐にわたりお話いただきました。また、妊婦体験（ペットボトル入りのリュックサックを前抱え）を通して妊婦の大変さや、親への感謝の気持ちを感じることができました。以下、生徒の感想の一部をご紹介します。

「今日は『性』について学びました。動画を見て何億個の中から1つだけ選ばれたのが自分だと思えると、なんだかとても不思議な感じです。避妊の話で自分ははっきりものを言えないので、もし将来のパートナーに出会ったときにしっかりと話し合える人を見つけて自分も相手に意見をちゃんと言えようような大人になりたいです。」

「正しい知識を身につける必要が大切だと改めて思いました。今後、妊娠をする際は赤ちゃんがおなかにいる時に声が聞こえると知ったので、声をかけて産まれてくるのを楽しもうと思いました。」

○社会人として必要な資質・心構え及びマナーについて学びました

2日（木）に九州国際情報ビジネス専門学校から講師をお招きし、「礼法指導」を行いました。講師のお人柄に生徒諸君も引き寄せられ、最後まで集中して受講していました。以下、生徒さんの感想文です。

「今回の礼法指導では、なぜマナーが大切なのかを考えさせられました。他人だからあいさつをしないのではなく、他人だからこそ、挨拶をすることやマナーを守ることが大切だということがわかりました。姿勢や言葉遣いはすぐに身に付くものではないので、普段の生活の中でも気を付けようと思いました。正しいマナーの話やきれいなお辞儀の仕方などあまり習うことのないものだったので、とても勉強になりました。今回の礼法指導で教えてもらったことをしっかり実践できるようにしたいです。」



○大学・短大・専門学校ガイダンスを実施しました。

各種学校の設置学科や特色あるカリキュラムを学ぶことにより、生徒自身の進路実現のための一助になることを目的とし、9日（木）に開催しました。県内の14の学校からお越しいただき、生徒が希望するブースで各々の担当者から熱心に説明いただきました。生徒たちも担当者の方の熱意が伝わったのか、全員が真剣なまなざしで時折メモを取りながら聞き入っていました。事後、講師の方から「生徒さんたちがとても一生懸命に聞いてくれていたので、こちらもつい熱が入りました！」とお褒めのお言葉をいただきました。皆さんの進路実現に向けて今後もしっかり取り組んでいきましょう。



○夜のレクリエーション大会開催！

10日（金）に生徒会主催による「夜のレクリエーション大会」が開催されました。前半は百人一首、後半はバドミントン大会を行い、勝敗を超えて交流を深めることができました。百人一首では、電子黒板から流れる和歌をよく聞いて札を取り合い、勝敗を競いました。バドミントン大会では、夜間といえども高温の中での活動となりましたが、学年の枠を超えたチーム編成を組み、途中で休憩等を楽しみながら試合を行いま



した。生徒会の願い通り、異学年間で交流している場面をたくさん見ることができました。生徒会の皆さん、企画から、準備・運営まで、大変お疲れ様でした！また一つ、みなさんの高校生活での思い出ができましたね！今後の活動にも期待しています！！